

1月(January)

1 市民が市長と直接対話、区民車座集会在スタート

身近な市政実現のため、市長と市民が直接対話を行う「区民車座集会」の第1回が麻生区役所で開かれました。市長と区長を囲むように参加者が座り、待機児童対策や中学校給食などのテーマごとに、約1時間半にわたって意見交換が行われました。区民車座集会是、毎月1回程度、7区で順次開催しています。

2 最先端の技術などを楽しみながら学べる東芝未来科学館が川崎駅西口にオープン

JR川崎駅西口にある株式会社東芝のオフィスビル「スマートコミュニティセンター」内に「東芝未来科学館」がオープンしました。東芝の歴史を振り返るとともに、最先端の技術や製品などを分かりやすく展開し、年間30万人の来場者を目指します。マシンに乗りこんでハンドルを操作し、「ナノ（100万分の1ミリ）」の世界を自由に移動できる「ナノライダー」など、楽しみながら学べる体験装置を入場無料で多数そろえた施設となっています。

2月(February)

3 夢見ヶ崎動物公園創立40周年 レッサーパンダの愛称は『ギンガ』に決定

夢見ヶ崎動物公園で昨年7月に生まれたレッサーパンダの子どもの愛称が「ギンガ」に決まりました。昨年末から今年初めにかけて来園者に愛称を募り、1,624票から選びました。また、11月には、動物公園創立40周年を記念した秋の動物園まつりが開催され、新たな園の仲間としてアンデス地方生まれのこぶのないラクダ、ラマがお披露目されました。

4 『毎日映画コンクール』表彰式開催、女優主演賞に赤木春恵さん、男優主演賞に松田龍平さん

2月13日に、「第68回毎日映画コンクール」の表彰式が3年ぶりにミュージア川崎シンフォニーホールで行われました。日本映画大賞は「舟を編む」が受賞。俳優部門では、「ペコロスの母に会いに行く」で女優主演賞を赤木春恵さんが、「舟を編む」で男優主演賞を松田龍平さんが受賞したほか、男優・女優助演賞をピエール瀧さん、吉高由里子さんが受賞しました。

5 童謡『ぞうさん』などの詩人まど・みちおさん死去

親しみやすく、思わず口ずさんでしまうような作品を数多く残した詩人まど・みちおさんが老衰のため104歳で死去されました。童謡「ぞうさん」「一ねんせいになったら」など2,000編にもものぼる作品を残したほか、市内の複数の幼稚園や小学校の園歌や校歌の作詞を手がけるなど、1976年には「川崎市文化賞」を受賞しました。

6 『川崎国際環境技術展2014』を開催、過去最多の企業・団体が出展

2月14日に、市内企業等の優れた環境技術を世界に発信し、国際的なビジネスマッチングの場を提供する「川崎国際環境技術展2014」を開催しました。大雪の影響により、予定していた15日は中止となりましたが、市内企業を中心に過去最多の157団体が出展しました。

3月(March)

7 武蔵小杉駅に新たな駅前広場が誕生

3月30日に、中原区の東急線武蔵小杉駅東側に「武蔵小杉駅東口駅前広場」が供用開始されました。駅南側の交通結節点として、バス乗り場、ユニバーサルデザイン対応のタクシー乗り場、地下駐輪場（約2,200台収容）のほか、太陽光パネル、マンホールトイレ、防災備蓄倉庫が市街地再開発事業により整備されました。前日の29日には、広場の完成を記念した式典や「ふるさと交流フェスティバル」を開催しました。また、7月には、地域の意向を反映したモニュメントが寄付されました。

4月(April)

8 キッズルーム、売店やコンビニなど施設も充実 川崎競輪場 西スタンドが完成

川崎競輪場に、約6,000人収容の新たな観戦エリア「西スタンド」と選手管理棟が完成しました。「西スタンド」には、キッズルームと授乳室を設置し、さらに牛丼チェーン店やコンビニエンスストアが出店するなど飲食店等が充実し、これまでのお客様に加え、若者・女性・家族連れのお客様にも気軽に親しんでいただける施設となりました。

9 川崎に60m級の巨人 ミューザ川崎で『進撃の巨人』プロジェクションマッピング

ミューザ川崎の壁面に人気漫画「進撃の巨人」の映像を映し出すプロジェクションマッピングが行われました。4月10日から3日間、約60メートル級の実物大の巨人が投影され、ラゾーナ川崎プラザなどから多くの観客が鑑賞しました。

10 初めて市内の全測定局で二酸化窒素の環境基準を達成

大気汚染物質の一つである二酸化窒素について、1974年の常時監視の開始以来、2013年度に初めて市内すべての測定局で、国が定める環境基準を達成しました。事業者による環境対策の取組や最新規制車への買替が進んだことなどが達成に繋がったと考えられます。

11 タイ・バンコク、中国・瀋陽に新たに企業の海外進出支援拠点を設置

市内企業の海外での販路拡大のサポートのため、新たにタイ・バンコクと中国・瀋陽に、オフィスとして利用できるスペースや連絡代行サービスを提供する拠点を設置しました。利用できるのは、川崎市が実施する海外での展示会等に参加する市内企業です。中国・上海でも既に同様のサービスを開始しており、海外現地でのサポート拠点は合計3か所となります。

12 童謡『大きなリンゴの木の下で』などの詩人・童謡作家の黒恵子さん死去

4月1日、草花や動物、昆虫などの身近な自然と生きる喜びをテーマとした作品を創作し、子どもたちの夢を育んできた詩人・童謡作家の黒恵子さんが死去されました。「大きなリンゴの木の下で」などNHKみんなのうたで数多くの作品を発表し、1990年には「川崎市文化賞」を受賞しました。10月には、「黒恵子童謡記念館」の遺贈を川崎市が受けることが決まりました。

13 市内初の公立中高一貫教育校となる市立川崎高等学校附属中学校が開校

4月1日、市内初の公立中高一貫教育校となる市立川崎高等学校附属中学校が開校しました。8月には、障害のある子どもたちを支援する南部地域療育センターを合築した市立川崎高校及び附属中学校の新校舎が完成しました。

5月(May)

14 多くの人々でにぎわい、川崎大師 10年に一度の大開帳奉修

厄除けで有名な川崎大師で10年に一度の「大開帳奉修」が行われました。5月1日から1か月間、人気の赤札による御利益を求め、多くの人々でにぎわいました。

15 川崎港輸出貨物量 初の1千万トン超

2013年の川崎港の輸出貨物量が1,098万トンにのぼり、川崎市による港湾調査開始の1951年以来最多となりました。主に完成自動車や石油製品の取扱量が増加したことなどが要因です。

16 『生田の天然水 恵水(めぐみ)』モンドセレクションで金賞受賞

多摩区生田の地下水を水源として製造しているペットボトル水「生田の天然水 恵水(めぐみ)」が、国際的な品質評価機関として知名度の高いモンドセレクションにおいて、金賞を受賞しました。「恵水(めぐみ)」は、上下水道局南部・北部営業センター、藤子・F・不二雄ミュージアム、

セレスモス、フロントウンさぎぬまなどで販売しています。

17 川崎市動物愛護センター 犬の殺処分ゼロ達成

川崎市動物愛護センター（高津区蟹ヶ谷）に収容された犬（迷い犬や飼い主が飼えなくなった犬）の殺処分数が、動物愛護ボランティアや市民の方々との連携・協働により、2013年度に初めてゼロになりました。

18 東芝ブレイブサンダース神奈川、NBL 初代王者に、全日本総合選手権との二冠達成

ナショナル・バスケットボール・リーグ（NBL）のプレーオフ決勝で、川崎市を拠点とする東芝ブレイブサンダース神奈川が、和歌山トライアンズを下して優勝し、NBLの初代王者となりました。シューティングガード（SG）の辻直人選手がMVPに選ばれています。同チームは1月の全日本総合選手権でも優勝し、2冠に輝きました。

19 市内の待機児童62人に（去年は438人）全国で2番目の大幅な減少

4月1日現在の川崎市内の保育所待機児童数が、対前年度比で376人減少し、62人となりました。認可保育所の整備のほか、川崎認定保育園の受入枠の増加や、保育料補助の拡充、きめ細やかな相談・アフターフォローなどを実施した結果であると考えられます。引き続き必要な保育受入枠の確保を行うなど、子育て環境の整備を進めていきます。

20 サッカーワールドカップ 川崎市にゆかりのある大久保嘉人選手、齋藤学選手が選出

「2014 FIFAワールドカップブラジル大会」の日本代表に、サッカーJ1リーグで昨季得点王に輝いた川崎フロンターレの大久保嘉人選手と川崎市出身の横浜F・マリノスの齋藤学選手が選出されました。大久保選手は2大会連続のワールドカップ代表選出となりました。川崎市では、等々力陸上競技場で市長から両選手に花束の贈呈を行うとともに、本庁舎に大久保選手を応援する懸垂幕や等身大パネルを設置して応援しました。

21 国家戦略特区に指定、京浜臨海部の強みを活かしたライフイノベーションの推進

国が主導となり、地方、民間と一体となって規制改革等の施策を総合的かつ集中的に推進する国家戦略特区に、神奈川県全域が東京圏として指定され、川崎市が、神奈川県、横浜市とともに、国に対して提案した「健康・未病産業と最先端医療関連産業の創出による経済成長プラン」が、東京圏の区域方針に位置付けられました。川崎市で取り組むライフイノベーションの一層の推進が期待されます。

6月(June)

22 麻生区黒川のセレスモス来場者数200万人を突破

川崎市内の農家から出荷された新鮮な野菜などを販売する市内唯一の大型農産物直売所「セレスモス」（麻生区黒川）の来場者数が200万人を突破しました。JAセレス川崎が運営する「セレスモス」は、2008年のオープン以来、来場者数を順調に伸ばしています。また、多くの市民に川崎の農業や市内産農作物「かわさきそだち」を知ってもらうために、川崎区や幸区でも定期的に出張販売を開催しています。

7月(July)

23 地域の様々な人材が先生となり子どもを育てる『地域の寺子屋事業』がスタート

7月19日、中原区の中原小学校を皮切りに「地域の寺子屋事業」がスタートし、11月までに全市8ヶ所で開講となりました。地域のシニア世代をはじめとする様々な人材が寺子屋の先生となり、週1回平日の放課後に子どもたちが持参した宿題や寺子屋で用意した課題などに取り組む学習支援と、月1回土曜日等に体験活動や世代間交流を実施しています。

24 市制90周年を迎えた川崎市 4万8千人から145万人へ

大正13（1924）年に川崎町・御幸村・大師町が合併して誕生した川崎市は、今年7月1日市制90周年を迎えました。同日は約1,200人が参加し、ミューザ川崎シンフォニーホールで記念式典を行いました。この90年で、川崎市は産業都市として急速に成長するとともに、著しく人口が増加し、利便性の高い生活都市として発展してきました。

25 川崎マリエン 日本夜景遺産に認定

川崎区東扇島にある川崎マリエン（川崎市港湾振興会館）タワー棟の10階、高さ51mになる展望室から見る夜景が、川崎市内で初めて「日本夜景遺産」に登録されました。展望室は360度のガラス張りで、工場夜景や羽田空港を発着する航空機、スカイツリー、横浜ベイブリッジなど、川崎ならではの夜景が楽しめます。

26 リニューアルから1年『ミューザ川崎シンフォニーホール』10周年

「音楽のまち・かわさき」のシンボルとしてオープンしたミューザ川崎シンフォニーホールは、2004年7月に開館し、今年で10周年を迎えました。東日本大震災の影響により脱落したつり天井などの修復を終え、2013年4月にリニューアルオープンしました。

27 新たな総合計画の策定に向けて 市民との意見交換をスタート

川崎市は、今後の市政運営の礎となる「新たな総合計画」の策定に向けて、7月から市民との意見交換をスタートしました。今後は、市民検討会議や有識者会議など、様々な検討を行い、2015年度に計画を策定します。

8月(August)

28 ひとり親の生活安定に向けて『寡婦（夫）控除のみなし適用』を実施

川崎市は、離婚や死別によるひとり親家庭への税法上の「寡婦（夫）控除」について、未婚のひとり親にものみなし適用することとしました。これにより、認可保育所保育料や市営住宅使用料など、課税額等を確認して利用負担額が決まる市の34事業について、婚姻歴の有無による課税対象所得額の差異と関係なく、サービスを受けることができるようになりました。

29 東海道かわさき宿交流館の来館者数が5万人を突破 かながわ観光大賞を受賞

川崎区本町にある「東海道かわさき宿交流館」の来館者数が、昨年10月の開館から5万人を突破しました。同館では、映像や模型などさまざまな手法を駆使して江戸時代の川崎宿の様子や、江戸時代から現代につながる川崎の歴史・文化を紹介しています。3月には、地元企業が東海道川崎宿の名物料理「奈良茶飯」を現代風にアレンジした「奈良茶飯風おこわ」の販売を開始しました。また、11月には、「かながわ観光大賞」の受賞が決定しました。

30 川崎市制90周年記念『第73回多摩川花火大会』に29万人訪れる

「第73回多摩川花火大会」が高津区河川敷で開催され、約6,000発の花火が打ち上げられ、過去最多の約29万人の観客が音と光の競演を楽しみました。創立90周年の洗足学園音楽大学の演奏とともに、市制90周年を記念した仕掛け花火も披露されました。

31 キングスカイフロントに先端技術等の企業が続々と進出決定

研究機能に加えてにぎわい・交流機能を含む複合施設の導入を進める大和ハウス工業株式会社の進出決定（5月）に続き、ロボット技術を健康、医療、福祉分野に活用し、安心した暮らしの実現を進めるCYBERDYNE（サイバーダイン）株式会社や、がんやアルツハイマー型認知症の検査用医薬品の開発を進める富士フィルムR1ファーマ株式会社が殿町国際戦略拠点キングスカイフロントに進出することが決定しました。

9月(September)

32 浜田千穂選手 レスリング世界選手権55kg級で初優勝

川崎市高津区出身で市立橋小学校、同橋中学校を卒業した浜田千穂選手が、ウズベキスタンで開催されたレスリング世界選手権に初出場し、55kg級で見事に初優勝しました。この快挙をたたえ、川崎市から「川崎市スポーツ特別賞」を贈りました。

33 『藤子・F・不二雄ミュージアム』3周年 入館者数が150万人を突破

川崎市多摩区にある「川崎市藤子・F・不二雄ミュージアム」の累計入館者数が、オープンからわずか3年で150万人を突破しました。同ミュージアムは、「ドラえもん」などの名作漫画を生み出した藤子・F・不二雄さんの世界を楽しめる施設で、1日4回、各回500人の予約制となっています。

34 川崎市と東京都大田区を結ぶ羽田連絡道路の整備、国や関係自治体が合意へ

国や神奈川県、川崎市、東京都などがメンバーの「羽田空港周辺・京浜臨海部連携強化推進委員会」が開催され、川崎市と東京都大田区を結ぶ羽田連絡道路の整備について合意が図られました。連絡道路の整備により、日本の国際競争力強化に資する拠点形成の加速が期待されます。

10月(October)

35 大師河原公園にスケートボードパークが市内初登場

スケートボードとBMX、インラインスケートの利用ができる「大師河原公園（スケートボードパーク）」が市内で初オープンしました。利用は無料、京浜急行大師線の産業道路駅から徒歩4分の場所にあり、フェンスで囲まれた約630㎡の敷地に階段やスロープ、スタート台などが設置されています。

36 国内最大級のハロウィンパレード『カワサキハロウィン』に11万人の観客

18回目となる「カワサキハロウィン2014」が開催され、10月26日には川崎競輪場前から国道15号線を横断して川崎駅付近へ向かうコースを新たに採用し、約2,500人の参加者が1.5キロの道のりをパレード行進し、沿道に集まった約11万人の観客を楽しませました。

37 川崎市と横浜市が相互連携する全国初の『待機児童対策に関する連携協定』を締結

川崎市は横浜市と待機児童対策に関する連携協定を結び、ともに子育てしやすいまちを目指して、市境を越えた取組を加速することで合意しました。認可保育所の整備や、保育士確保対策を共同で行うなど、隣接する政令指定都市が待機児童対策で連携するのは全国で初めての試みとなります。

38 南武線の輸送力を強化した新型車両の運行開始

10月4日、JR南武線の新型車両「E233系」の運行が開始となりました。当日は、運行開始に合わせて、記念セレモニーを行うとともに、記念入場券や限定発表の商品なども販売が行われました。従来の車両より定員が1割程度増えるため、混雑緩和が期待されます。

39 向ヶ丘遊園駅連絡通路が開通へ 利便性の向上などが期待

10月30日、向ヶ丘遊園駅連絡通路が開通となりました。延長約70mの歩行者専用道路であり、地域分断の解消や、駅周辺の回遊性、利便性の向上などが期待されます。

40 アジア競技大会、アジアパラ競技大会で川崎市出身の選手が活躍

韓国・仁川で開催されたアジア競技大会において、高津区出身の赤瀬紗也香選手が競泳女子200m背泳ぎで金メダルを獲得しました。また、水球女子日本代表で多摩区出身の杉山緑選手が出場し、銀メダル獲得に貢献しました。さらに、同所で開催されたアジアパラ競技大会においても宮前区出身の渡邊麗美選手が競泳女子100m平泳ぎに出場し、アジア新記録で金メダルを獲得するなど、多くの川崎市出身の選手が両大会で活躍しました。

4.1 川崎フロンターレ ヤマザキナビスコカップ2年連続3位

川崎フロンターレがJリーグヤマザキナビスコカップ2年連続で3位となりました。また、J1リーグにおいても、上位につけるなどACL（AFCチャンピオンズリーグ）進出の可能性が高まっています。

4.2 中学校完全給食の実施方針を発表、幸区・中原区・麻生区に給食センター整備を決定

川崎市は、市立中学校で2016年度から完全給食を提供するための実施方針を公表しました。幸区南幸町、中原区上平間、麻生区栗木の3か所に給食センターを整備し、専用の配送車両で調理後2時間以内に配送します。また、自校調理方式も犬蔵中学校（宮前区）と中野島中学校（多摩区）で実施するほか、小学校と合築の東橋中学校（高津区）とはるひ野中学校（麻生区）では、合築校舎内の調理場を活用する方針となっています。

11月(November)

4.3 『モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン・イン・かわさき2014』を開催

世界三大ジャズフェスティバルの一つである「モントルー・ジャズ・フェスティバル」の日本公演を11月21日から30日の間で開催しました。4回目となる今年は国内外の一流アーティストによるワークショップやジャズアカデミーに加え、新たに「ジャズ・ソロ・ピアノ・コンペティション」や「ジャズステーション」なども開催しました。

4.4 『2014川崎国際多摩川マラソン』が開催、応募殺到で早々に締切に

「2014川崎国際多摩川マラソン」が等々力陸上競技場及び多摩川河川敷マラソンコースで開催され、6,072人が参加しました。市制90周年を記念し「市民枠先行募集」の割合を定員の1割から2割に増員しました。一般募集でも、全種目において募集期間を待たずに早々に定員に達し応募が締め切られるという人気の大会となりました。

4.5 宮崎県と地域の活性化及び持続的成長に向けた基本協定を締結

宮崎県と互いの持つ資源や特性、強みを活かしながら連携・協力して、それぞれの地域の活性化及び持続的成長に向けた取組を推進するため基本協定を締結しました。今後、協定に基づき、国産木材等を活用した豊かなまちづくりや、活力や魅力のある産業づくり、新しい未来を創造する人づくり等を進め、都市と地方の連携・協力による新しい価値の創造モデルを目指します。

4.6 4月に『ららテラス』11月に『グランツリー』など武蔵小杉駅周辺に大型商業施設が次々オープン

4月に東急線武蔵小杉駅前に大型商業施設「ららテラス 武蔵小杉」、11月には「グランツリー 武蔵小杉」がオープンしました。ファッション、日用品、雑貨、美容などの店舗が出店し、ライフスタイルに見合う商品が提供されるなど、数多くの方々の利用が期待されます。

4.7 世界初の『再生可能エネルギーと水素を用いた自立型エネルギー供給システム』の共同実証を川崎マリエンなどで実施

川崎市と株式会社東芝は、「太陽光発電と水素を活用する世界初の自立型エネルギー供給システム」の共同実証を、川崎マリエンなどで2015年4月から2020年度末まで実施します。太陽光発電の電気を水素に置き換えて貯蔵し、必要な時に燃料電池で電気と温水を作り出します。平常時はエネルギーの最適制御により電力のピークカットに貢献するとともに、災害時は避難者300名分の電気と温水を1週間供給することが可能となります。

4.8 『橋樹官衙（たちばなかんが）遺跡群』が市内初の国史跡指定へ

11月21日、橋樹官衙遺跡群（高津区千年・宮前区野川）が国の文化審議会から国史跡指定の答申を受けました。その後、2015年3月の官報告示により、正式に市内初の国史跡となる予定です。橋樹官衙遺跡群は、武蔵国橋樹郡の役所跡である橋樹郡衙跡と、隣接する郡寺跡である影向寺遺跡から構成され、古代川崎の政治・行政・文化の中心として重要な役割を果たしていました。国史跡指定後は、貴重な資源として、整備・保存を進めていくこととなります。